

災害の発生が想定されるときへの行動

災害情報を収集

■台風などが近づいてきたら

テレビ・ラジオ・インターネット、やまとPSメール、ヤマトSOS支援アプリ、防災気象情報サイトなどで正確な気象情報を収集し、気象庁からの警報、注意報や市からの避難情報等を確認します。豪雨や強風による危険性があるときは、外出を控え、少しでも危険を感じる場所には近づかないようにしましょう。

■避難情報等を明確な表現に変更

災害対策基本法が改正され、大雨・洪水警戒レベルとともにお知らせする避難情報等が次のとおり変わりました。

- ・レベル5: 「災害発生情報」は「緊急安全確保」に変更
- ・レベル4: 「避難指示」「避難勧告」は「避難指示」に一本化
- ・レベル3: 「避難準備・高齢者等避難開始」は「高齢者等避難」に変更。

新しい避難情報等

警戒レベル	避難情報等	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
4	避難指示	危険な場所から 全員避難
3	高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等は避難
2	大雨・洪水・高潮注意報	自らの避難行動 を確認
1	早期注意情報	災害への 心構えを高める

分散避難※を検討

※災害時に市が開設する避難場所等に多くの人が集中することを避けるため、自宅、親族や知人宅、宿泊施設など避難場所等以外の安全な場所に避難する方法。

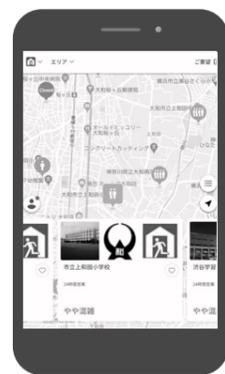
■避難場所等の混雑状況をスマホで確認

市では、指定緊急避難場所や避難生活施設(以下「避難場所等」)の開設状況や混雑状況の情報を避難場所等混雑状況表示システム「VACAN」で提供しています。避難場所等の開設時に、インターネット上のマップで混雑状況を4ランクで表示します。避難するときに活用して、分散避難にご協力ください。

■事前に複数の避難先を検討

市が開設する避難場所等は受け入れ可能な人数が限られています。避難先として親族や知人宅、宿泊施設などを複数想定しておく、いざというときに落ち着いて避難先を選択できます。

—避難場所等混雑状況表示システム「VACAN」—



地図上で
避難場所等を確認

【4つのランクでお知らせ】

- iii 満
- iii 混雑
- ii やや混雑
- ii 空いています

※避難場所等
開設時のみ運用



避難時・避難場所での留意点

避難時には

- ・渋滞発生による逃げ遅れの防止や緊急車両通行を確保するため、避難は原則徒歩で
- ・食料や水などの非常持出品は持参。感染症対策としてマスクや消毒液、体温計なども準備する
- ・ペットとの同行避難では、ペットは必ずケージに入れ、フードや衛生用品などを持参。

避難場所等では

- ・マスクの着用や手洗い、手指の消毒を。周りの人との距離の確保に努め、大声での会話を控える
- ・検温などの体調確認を実施。発熱しているなど、体調不良の場合には、別室で避難
- ・ペットは他の避難者への配慮などから、飼い主と同じスペースには入れない。

令和元年の台風15号・19号では、大型の台風が関東地方に上陸し、猛威を振るいました。台風や大雨などの風水害は、南北に引地川や境川が流れる大和市において警戒が必要です。いざというときに「自らの命を自らで守る」ために、日頃から備えることが大切です。

☎ 市役所危機管理課危機対策係 ☎ (260)5728 ☎ (261)4592

平常時に備えること

自宅などが被災するリスクを確認

- ☑ 自宅が浸水想定区域や土砂災害警戒区域に位置しているか確認
- ☑ 自宅が「そのいずれにも位置しない場合」や「浸水想定区域内であっても、浸水が床上浸水に至らず、自宅の2階以上などへ避難が可能な場合」は、屋内での安全確保に努める。

防災マップでは、浸水想定区域と予想される水深、土砂災害警戒区域、広域避難場所や避難生活施設などを確認できます。

※防災マップは、市役所危機管理課、保健福祉センター、各分室・連絡所、各学習センターなどで配布するほか、市のホームページやヤマトSOS支援アプリでも確認できます。



市防災のページ



ヤマトSOS支援アプリ



2019年2月更新版

自宅の備えを確認

家の外の備え

- ☑ 雨戸や屋根などをチェック、不安定なアンテナを補強
- ☑ 鉢植えや物干しざおなど、飛ばされそうな物は屋内へ移動か固定
- ☑ 側溝や排水溝、雨どいは掃除し、水が流れやすくしておく。

家の中の備え

- ☑ 停電に備え、懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を準備
- ☑ 断水に備え、飲料水を確保。浴槽に水を張るなど、生活水の確保も検討
- ☑ 非常持出品がそろっているかを確認。